dieci

photo: dieci

photo: Norio Kidera

華やぐ日常、潤う気持ち。
鹿児島 睦 × Keramikstudion Gustavsberg
フラワーベース「En Liten Vän ー小さな友達」に Monkey と Squirrel が登場

大阪を拠点に世界を巡り、独自の視点でセレクトした気持ちが豊かになる品々を扱うインテリアショップ dieci（ディエチ）。近年、dieci では、歴史あるスウェーデンの製陶工場「Keramikstudion Gustavsberg（ケラミックスタディオン・グスタフスベリ）」の魅力を多くの方に知っていただきたいと、日本人作家との作品づくり取り組んでいます。

dieci では、2018 年より陶芸家・アーティストとして、世界的に活躍する鹿児島 睦 氏のデザインによる愛らしい動物モチーフの花器シリーズ「En Liten Vän（エン リトゥン ヴァン）-」をリリース。スウェーデン語で「小さな友達」を意味する人気シリーズに、この度、新たな仲間となる＜ Monkey(さる) ＞＜ Squirrel（りす）＞と＜ Fox（きつね）＞に新色イエローが加わりました。4 月 1 日より発売がスタートします。ぜひご注目下さいますようご案内申し上げます。

photo: Norio Kidera

福岡を拠点に、植物や動物をモチーフに独自の世界観で図案を施した器やオブジェを制作している鹿児島 睦さん。
日本のみならず、ロンドン、台湾、LA のギャラリーで個展を開催するなど世界的に活躍、そのオリジナリティ溢れる図案と造形力で国内外の多くのファンを魅了しています。近年では、器やオブジェの制作だけにとどまらず、ジャンルを超えたブランドとのコラボレーション、図案の提供、壁画を含む空間表現など活躍の場を広げ多岐に渡りその才能を発揮しています。
dieci の企画により Keramikstudion Gustavsberg 社と共同制作したのは、スウェーデン語で「小さな友達」を意味する動物モチーフの花器シリーズ「En Liten Vän（エン リトゥン ヴァン）」。今回、鹿児島さんに本シリーズについて、Keramikstudion Gustavsberg 社とのものづくりについてなどお話しを伺いしました。

花器がもたらす日常の潤い

きっかけは、dieci から初期の頃製作していた花器を一緒に作りたいというオファーからでした。鹿児島さんの溢れ出る創造力とできるだけ多くの方に多様な作品を届けたいという想いとはうらはらに、自身の手で制作するにはどうしても限りができてしまうと、最近では食器の制作が中心となっていた中、今回の花器の提案は嬉しい話だったといいます。
「花器は、個人的にも好きなアイテムの一つ。花器単体をオブジェとして楽しむとともに、作品を愛でるだけでなく、植物を活けるという行為が日常の中で作品のとの距離を縮める。アート性と実用性の二面性をもち、活ける植物によっても表情をかえ、日常に豊かな彩りや潤い与えるアイテムの一つです。今回も愛らしい動物たちがオブジェとしても可愛く完成されながら、小さな生け込み口でも花器としての実用性があり、植物を挿すことでほっとするような愛着を生み出すものにしたいと考えました。」と話します。

職人との信頼によって生まれる新たな魅力。

「En Liten Vän」シリーズは、鹿児島さんが原形となる動物の造形を制作、現地で型をつくり成形、鹿児島さんのハンドドローイングをベースに現地の職人が、一点一点絵付けを施していくプロセスをとっています。
鹿児島さん曰く、「他のコラボレーションも同様に、ブランドやメーカーとの共同製作は、製作に関わる職人との信頼で成り立つものづくり。自分が描いた図案や造形を受け渡し、そこに職人のセンス、道具や機械のアレンジなどが加わり作品が完成していく。完成した作品をみて勉強になる部分もあったり、職人の筆圧などほんの少しの違いが作品一つ一つの個性となり新たな魅力を生み、面白いものに仕上がります。そして多くの人に届けられるのも魅力です。」

これまでもグスタフベリ社の個性豊かな作品の数々に、立体造形の楽しさを感じていたと話す鹿児島さん。
グスタフベリ社は、1942 年に当時アーティスティックディレクターを務めるヴィルヘルム・コーゲによって設立した " グスタフスベリ・スタジオ " の頃から、ベルント・フリードベリ、スティグ・リンドベリ、リサ・ラーソン等、北欧を代表する名だたる作家が在籍。
アーティストをデザイナーとして起用するスタイルで、アートと工場での技術をうまく融合させ、独創的で美しくありながらも実用性のある陶芸作品を多数生み出してきました。当時よりアーティストや作家と良き信頼関係を築き、ものづくりをしてきたグスタフスベリから生まれた名作同様に、今回もアーティストの創造力と職人の技やセンスが融合した作品が誕生しました。
今回、Monkey(さる)、Squirrel（りす）が加わり、Fox（きつね）、Rabbit（うさぎ）、Bird（とり）と、鹿児島さんが提案当初描いていた 5 匹の小さな友達が揃いました。ぜひ「En Liten Van」の小さな友達たちと彩りある生活をお楽しみください。
鹿児島さんは、この夏 Keramikstudion Gustavsberg の工房を訪ねる予定とのこと。「En Liten Vän」の制作で築いた信頼をもとにまた新しいものづくりが始まるかもしれません。ぜひご注目ください。

ITEM

Monkey (さる) - 新作
サイズ： w.7 × h.13.5 cm
カラー： Brown/Green/ Gray
価格： ¥9,500（税別）

Squirrel（りす）- 新作
サイズ： w.13 × h.12 cm
カラー： Yellow/ Lught Gray
価格： ¥9,500（税別）

Fox（きつね）- 新色
サイズ： w.15 × h.14.5 cm
カラー： Brown/Yellow（新色）
価格： ¥9,500（税別）

お包みしている大判ハンカチは、使わない花器をしまっておくときや、大切な家具の上に飾るときのアクセントクロスに、またお弁当を包むときなど用途は色々。

商品名：「En Liten Vän」（エンリトゥンバン）
デザイン：鹿児島 睦
アイテム：Monkey Squirrel,Fox
Rabbit（Black/White）Bird（Brown/Gray）
製造： Keramikstudion Gustavsberg
発売日： 4 月 1 日より dieci 天神橋店・南船場店
＊専用箱付・オリジナルプリントの大判ハンカチ付・アテンション付

PROFILE

鹿児島 睦 / Makoto Kagoshima
福岡生まれ。美術大学卒業後、インテリアショップでのディスプレイやマ ネージメントを経て、現在は福岡市内にある自身のアトリエにて陶器や ファブリック、版画等を中心に制作。日本国内のみならず、L.A.、台北、ロンドンなどで個展を開催、近年では世界中にファンが広がっている。 陶器にとどまらず、空間への壁画制作や国際的なアートプロジェクトへ の参加など活動の幅は多岐に渡る。
http://www.makotokagoshima.com

Keramikstudion Gustavsberg（ケラミックスタディオン グスタフスベリ）
ストックホルムから南東へ 20km ほど離れた場所に位置する港街グスタフスベリにて、1825 年に創業された歴史ある製陶工場グスタフスベリ社。ベルント・フリードベリ、スティグ・リンドベリ、リサ・ラーソン等、北欧を代表する名だたる作家が在籍し、アートと工場での技術をうまく融合させ、独創的で美しくありながらも実用性のある陶芸作品を多数生み出してきた。1987 年に売却され同地での生産が終了。1992 年にリサ・ラーソンがグスタフスベリ社在籍時代の同僚とともに、ゆかりの地で Keramikstudion Gustavsberg 社を設立。グスタフスベリ社のクオリティと伝統を受け継ぎ、熟練の職人の手仕事による作品づくりを継承している。

dieci（ディエチ）
「それがそこにある事で気持ちがほんの少し豊かになるインテリア」をコンセプトに、1999 年にスタートしたインテリアショップ。世界中で自ら買い付けたアイテムや、こだわりのある作り手や紹介者の方に分けて頂いた、背景にストーリーがあるアイテムを販売。 大阪市内にテーマの異なる 3 店舗を構え、家具やクラフト、洋服、アクセサリー、フードやカフェなど暮らしにまつわる様々なアイテムを展開。作家や作り手との親交も深く、商品企画や展覧会の企画などにも携わる。また、日本代理店を務めるスウェーデンの KERAMIK STUDION 社が製作する LISA LARSON の作品は国内随一を誇る品揃え。 http://dieci-cafe.com

PRESS CONTACT
本件に関するご質問、取材やサンプルのお貸出し、掲載等に関するお問い合わせは下記までご連絡下さい。
daily press 川村 美帆 ｜ 03-6416-3201 mihokawamura@dialypress.org